

令和3年5月20日

令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたことで、患者数及び健診センターの稼働の減少により事業収益は大幅に減収となりました。しかしながら、陽性患者の入院の受入れ及びPCRセンター・相談センター業務の受託、並びに職員の雇用調整等を行い、多種の補助金・助成金を積極的に受けることで、減収を補填し、増益を図りました。

その結果、令和2年度の決算は、経常収益が32億4,300万、前年比で8,400万の増加、経常費用は30億3,900万で7,700万減少、経常外費用が2,500万発生し、1億7,800万の黒字決算となりました。

主な内訳と要因としては、

収益では、保険診療収益が1億3,200万、その他診療収益が8,800万の減収、介護収益が400万増収（6-3月まで加算の特例があったことによる影響）、受取補助金等3億400万の増収がありました。

経費では、人件費が4,400万の減少（人員の減少と企業年金保険料の削減による）、薬品・材料原価が2,700万の減少（患者数の減少による）、一般経費では、水道光熱費が600万減少（契約更新時の電気の基本料金の大幅な削減）、検査委託費が1,200万増加（PCR検査他発熱患者の検査項目の増加による）、経常外費用が2,400万発生（企業年金基金の脱退による一時金負担）したことがあげられます。

令和2年度の1日当たり平均入院患者数は148.8人で前年度比18.3人減少し、内訳では一般病棟が105人で前年比43.8人の減少、療養病棟が43.8人で、0.8人の増加になりました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が未だ懸念されますが、引き続き感染対策を十分に考慮し、積極的な患者の受け入れと、なお一層の業務の効率化により収益増に努めて参ります。併せて、近隣機関との連携を図り地域の医療ニーズに応え、地域医療に貢献し、且つ永続的に安定した経営が図れるよう取り組んで参ります。

■ 設備・機器導入

ー土地・建物設備ー

- 本館冷暖房装置メンテナンス工事 : 6月完了
- 南館空調システム（リハ・5階） : 6月完了
- 物置（救急入口屋外） : 9月完了

ー医療機器・器具備品ー

- チルトテーブル（リハビリ） : 8月完了
- 空気清浄機（プレハブ内） : 9月完了
- 全身麻酔器 : 11月完了
- 外科用X線装置 : 2月完了
- 器具除染洗浄機 : 3月完了
- 医療用トレッドミル : 3月完了
- ベッドサイドモニタ : 3月完了
- 無影灯 : 未完了
- 一包化錠剤仕分け装置 : 未完了

■ 人 事

ー入 職 者 : 17名ー

医師2名、看護部門9名、技術部門2名、事務部門6名

ー一定年退職者 : 0名ー

ー中途退職者 : 24名ー

医師1名、看護部門13名、技術部門4名、事務部門3名